

土岐市の事務・事業に伴う排出量

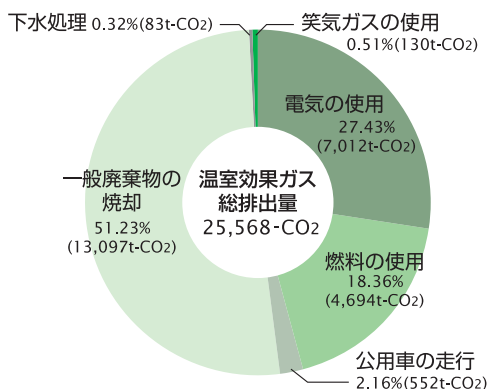
土岐市地球温暖化対策実行計画では1次計画として平成14～18年度の5年間で平成2年度レベルの排出量※に戻し、その後2次計画として平成19～23年度の間に平成2年度比6%減を目指すことを目標としました。

平成19年度温室効果ガス総排出量は25,568t-CO₂（二酸化炭素換算値）で、19年度目標値である22,175t-CO₂に対して15%増加しているという結果となりました。

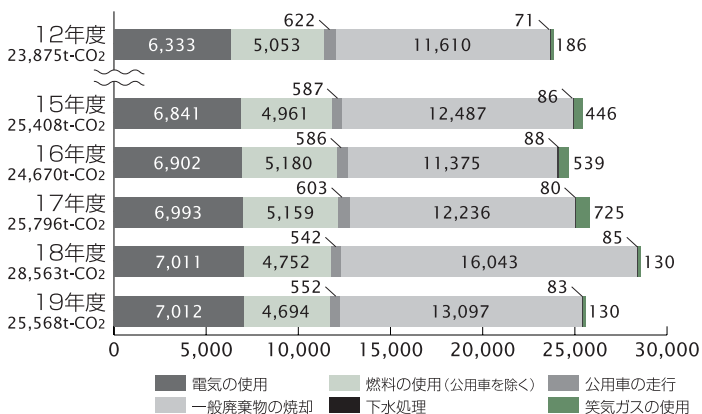
第2次温暖化対策実行計画も2年目を迎えます。目標達成のため、節電や省エネなどさらなる努力を続けます。

※ 市では、平成11年度以前の排出量を把握していないため、平成12年度数値を基準値とし、平成2年度レベルの排出量をその基準値の6%減の量としています。

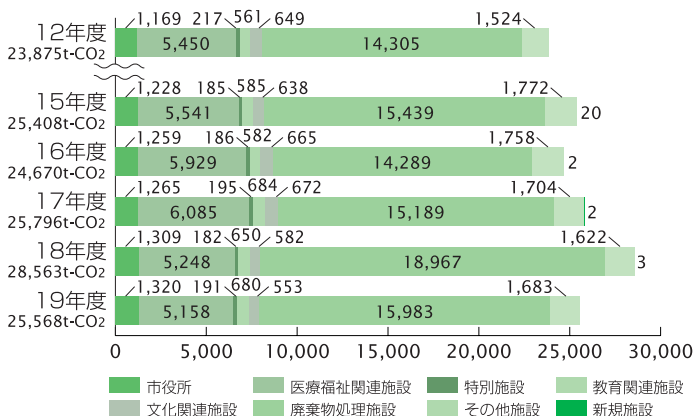
平成19年度温室効果ガス総排出量グラフ



活動別年間排出量の変化



施設別年間排出量の変化



地球温暖化 ストップ!

7月7日～9日に、北海道の洞爺湖で、日・米・英・仏・独・伊・加・露8カ国の首脳およびEUの委員長が参加して首脳会議（洞爺湖サミット）が開催されます。

「2050年までに世界全体の温室効果ガスを半減」との長期目標について、合意を目指すことができるのか、地球温暖化という人類に重くのしかかる問題解決の方向性を示せるか、注目されています。

わが国では平成9年に採択された京都議定書に基づき、平成20～24年の間に、温室効果ガスの総排出量を平成2年に比べ6%削減する目標が定められました。

これを受けて、平成11年には「地球温暖化対策の推進に関する法律」が施行され、地方公共団体の事務や事業に関しても、温室効果ガスの排出抑制のための実行計画の策定が義務付けられました。

土岐市では平成13年度に「土岐市地球温暖化対策実行計画」を策定し、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

今回は、その結果をお伝えするとともに、私たちにできる地球温暖化対策とは何か、いま一度考えてみましょう。





「ストップ! 地球温暖化」

コラム編

昨年10月「ノーベル平和賞」を受賞して有名になった、国連の「気候変動に関する政府間パネル (IPCC)」は、地球温暖化の原因は、ほぼ人間の活動によるものであり、CO₂などの「温室効果ガス」の排出が主な原因であると報告しました。

このまま「地球温暖化」が進めば、生態系への影響や砂漠化の進行、豪雨や干ばつなど異常気象の増加、海面水位上昇による土地の喪失、農業生産や水資源への影響、マラリアなど熱帯性感染症の増加などが起こるといわれています。

世界の国々では、CO₂排出を削減するため、植林により森林面積を拡大しCO₂吸収を増加させる活動や、風力や太陽光発電などの「新エネルギー政策」などの研究が行われています。

私たち一人一人が「ストップ! 地球温暖化」のためにできる取り組みの第一歩として、「マイバック」や「マイはし」の使用によるごみの削減や、電気、ガス、水道などの使用量削減があります。環境家計簿を付け、家庭でも温暖化対策に取り組みましょう。

かけがえのない大切な地球を守り、人間や生物が平和に暮らせるよう、まずはできることから始めていきましょう。



生態系への影響や砂漠化の進行



豪雨や干ばつなど異常気象の増加



海面水位上昇による土地の喪失

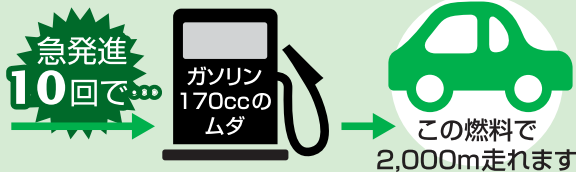


農業生産や水資源への影響



マラリアなど熱帯性感染症の増加

2000ccオートマチック乗用車の燃費
10・15モード=11.7km/Lの場合



原因は人間

IPCCは、将来の大気中の二酸化炭素の濃度をせめて現在の濃度レベルに抑えるには、今すぐに人間が出す二酸化炭素の量を50〜70%減らさなければならぬと警告しています。過去20年間に大気中へ出てしまった二酸化炭素のうち、約3/4は「化石燃料」を燃やしたことが原因です。残りの大部分は、土地の使い方が変化したこと、特に森林を農地や住宅地に変えたことなどが原因としています。

前例なき二酸化炭素の増加

南極などの氷の中には、何十万年も昔の大気が閉じ込められています。これを調べると、過去数千年間、大気中の二酸化炭素の濃度は280ppm (0.028%) 前後に安定していたことがわかりました。しかし、産業革命後に工業化が進むにつれて二酸化炭素の濃度は増え、2002年には374ppm (年平均) にまで増えていきます。実にこの250年で、二酸化炭素は30%以上も増えているのです。

環境家計簿を付けましょう

家庭でも
温暖化対策に
取り組もう!

この環境家計簿は、使用したエネルギーの量やごみの排出量を記入し、計算することによって、私たちの家庭から1カ月にどれくらいの二酸化炭素(CO₂)が排出されたか確かめることができるものです。日常生活への環境負荷を実感すると同時に家計のチェックもできるので、CO₂排出量を減らすために私たちができることを考えながら、有効に役立ててください。

前年同月の使用量も分かる場合は、記入して比較してみましょう

使用量にそれぞれの係数を掛けた数値をCO₂排出量欄に記入してください

1 月

項目・単位	(前年同月使用量)	使用量	係数	CO ₂ 排出量 (kg)	金額 (円)
電気 kWh	450	436	× 0.39	170.04	10,063
LPガス m ³	24	20	× 6.5	130	3,469
水道 m ³	27	28	× 0.36	10.08	7,438
灯油 ℓ	90	72	× 2.5	180	4,799
ガソリン ℓ	115	84	× 2.3	193.2	9,744
軽油 ℓ	30	28	× 2.6	72.8	2,240
燃えるごみ kg	7.5	6.9	× 0.34	2.346	—
合計				758.466	37,753

ごみの重さは、ごみ袋を持って体重計に乗り、自分の体重を引けば測ることができます

電気、LPガス、水道、灯油、ガソリン、軽油の使用量および金額は、請求書や領収書などを基に該当欄に記入してください

※二酸化炭素排出量を計算するための係数は、岐阜県環境家計簿に準じています



地球温暖化について もっと知りたいときは



環境省 HP (ホームページ)

<http://www.env.go.jp/>



全国地球温暖化防止活動推進センター HP

<http://www.jccca.org/>



環の暮らし HP

<http://www.wanokurashi.ne.jp/>



我が家の環境大臣 HP

<http://www.eco-family.go.jp/index.html>



チーム・マイナス6% HP

<http://www.team-6.jp/>

詳しくは、環境課 (内線251) へどうぞ。



見つめ直そう 私たちのライフスタイル

3カ月続けて記入し、取り組みを比較してみましょう

月

項目・単位	(前年同月使用量)	使用量	係 数	CO ₂ 排出量 (kg)	金 額 (円)
電 気 kWh			× 0.39		
L P ガ ス m ³			× 6.5		
水 道 m ³			× 0.36		
灯 油 ℓ			× 2.5		
ガソリン ℓ			× 2.3		
軽 油 ℓ			× 2.6		
燃えるごみ kg			× 0.34		
合 計					

月

項目・単位	(前年同月使用量)	使用量	係 数	CO ₂ 排出量 (kg)	金 額 (円)
電 気 kWh			× 0.39		
L P ガ ス m ³			× 6.5		
水 道 m ³			× 0.36		
灯 油 ℓ			× 2.5		
ガソリン ℓ			× 2.3		
軽 油 ℓ			× 2.6		
燃えるごみ kg			× 0.34		
合 計					

月

項目・単位	(前年同月使用量)	使用量	係 数	CO ₂ 排出量 (kg)	金 額 (円)
電 気 kWh			× 0.39		
L P ガ ス m ³			× 6.5		
水 道 m ³			× 0.36		
灯 油 ℓ			× 2.5		
ガソリン ℓ			× 2.3		
軽 油 ℓ			× 2.6		
燃えるごみ kg			× 0.34		
合 計					

※このページをコピーしてご利用ください